

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市民会館おおみや
(2)施設概要	①所在地 さいたま市大宮区大門町2丁目118 ②施設の設置目的 市民の文化の向上と福祉の増進を図る ③施設の概要(令和4年4月1日開館) 演奏会や舞踊発表会、講演会、式典など芸術・文化活動の拠点として、また会議やサークル活動などビジネス、生涯学習活動、市民活動の拠点としても利用できる ●大ホール(1,400席) ●小ホール(340席) ●リハーサル室 ●レクリエーションルーム ●スタジオ(6室) ●集会室(10室) ●和室 ●展示室(3室)等
(3)指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日 ②指定管理料 令和3年度128,986千円、令和4年度146,316千円、令和5年度150,223千円
(5)施設の管理運営の内容	①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 851,813人(前年度 693,380人) ・利用率 87.0%(前年度 77%) ・稼働率 69.3%(前年度 55%) ◇業務実施状況 ・施設の利用許可、利用料金の収受・還付 ・施設、附属設備の維持管理 ・文化芸術事業の実施

	②維持管理業務の状況 ・総合管理業務(警備・清掃・設備)〔毎日〕 ・舞台管理業務〔毎日〕 ・機械警備業務〔毎日〕 ・一般廃棄物収集運搬処理業務〔適宜〕 ・産業廃棄物収集運搬処理業務〔適宜〕 ・エレベーター保守点検業務〔年12回〕 ・エスカレーター保守点検業務〔年12回〕 ・自動ドア保守点検業務〔年4回〕 ・シャッター保守点検業務〔年1回〕 ・舞台機構設備保守点検業務〔年4回〕 ・舞台音響・映像設備保守点検業務〔年2回〕 ・リハーサル室等音響映像設備保守点検業務〔年1回〕 ・舞台照明設備保守点検業務〔年2回〕 ・ピアノ保守点検業務〔年1～3回〕 ・空調フィルター清掃〔年4回〕 ・モジュールチラー保守点検業務〔年2回〕 ・EHP/全熱交換器保守点検業務〔年2回〕 ・雑排水管清掃〔年1回〕 ・電動式移動観覧席保守点検業務〔年1回〕 ・自動制御設備保守点検業務〔年1回〕 ③その他の業務 ・県外からも来館が見込める鑑賞事業として、「村治佳織の四季＆アランフェスwith神奈川フィルハーモニー管弦楽団」や、「佐渡裕＆新日本フィルハーモニー交響楽団ハイドン×ブルックナー」等、主催事業23事業、共催事業18事業の計41事業を開催。主催者の都合により共催事業1事業を開催中止。																																
(6)収支状況	①収入 <table><tr><td>・指定管理料</td><td>150,223千円</td><td>(前年度</td><td>146,316千円)</td></tr><tr><td>・利用料金収入</td><td>138,292千円</td><td>(前年度</td><td>163,044千円)</td></tr><tr><td>・文化事業収入</td><td>50,652千円</td><td>(前年度</td><td>40,232千円)</td></tr><tr><td>・その他収入</td><td>2,169千円</td><td>(前年度</td><td>110千円)</td></tr></table> ②支出 <table><tr><td>・人件費</td><td>100,855千円</td><td>(前年度</td><td>100,200千円)</td></tr><tr><td>・事務費</td><td>3,186千円</td><td>(前年度</td><td>3,155千円)</td></tr><tr><td>・施設管理費</td><td>238,376千円</td><td>(前年度</td><td>237,913千円)</td></tr><tr><td>・文化事業費</td><td>58,338千円</td><td>(前年度</td><td>52,904千円)</td></tr></table>	・指定管理料	150,223千円	(前年度	146,316千円)	・利用料金収入	138,292千円	(前年度	163,044千円)	・文化事業収入	50,652千円	(前年度	40,232千円)	・その他収入	2,169千円	(前年度	110千円)	・人件費	100,855千円	(前年度	100,200千円)	・事務費	3,186千円	(前年度	3,155千円)	・施設管理費	238,376千円	(前年度	237,913千円)	・文化事業費	58,338千円	(前年度	52,904千円)
・指定管理料	150,223千円	(前年度	146,316千円)																														
・利用料金収入	138,292千円	(前年度	163,044千円)																														
・文化事業収入	50,652千円	(前年度	40,232千円)																														
・その他収入	2,169千円	(前年度	110千円)																														
・人件費	100,855千円	(前年度	100,200千円)																														
・事務費	3,186千円	(前年度	3,155千円)																														
・施設管理費	238,376千円	(前年度	237,913千円)																														
・文化事業費	58,338千円	(前年度	52,904千円)																														
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	・5階楽屋周辺及び6階集会室エリアの案内表示をより分かり易くしてほしいとの要望により、表示のサイズを大きくする等改善した。 ・リハーサルルームの譜面台について、スタンド式×20本と折り畳み譜面台×30本の合計50本(定員50名分)を貸出していたが、折り畳み譜面台が定員分欲しいとの要望により、30本を追加購入し貸し出すこととした。 ・コピー機横に作業台が欲しいとの要望により、作業台を設置した。 ・レクリエーションルームの利用者から、部屋の廊下角に設置してあるソファの周囲に人が集まるため利用に支障が出るとご意見があったため、ソファを5階スタジオ2の前へ移動した。 ・利用者からの要望によりスタジオ4～6に靴べらを用意した。 ・集会室1・8・9のプロジェクターについて、HDMIコードからの出力が不安定なため、映像用と音響用にケーブルを分けて貸し出すこととした。																																
(8)その他																																	

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
管理運営体制、緊急時の対応	・「危機管理ガイド・マニュアル」に基づき、危機管理の環境整備及び体制強化に努めた。 ・大宮門街管理組合によるビル全体の消防訓練に参加するとともに、館独自の消防訓練を実施した。 ・防火管理者及び防災管理者並びに普通救命講習Ⅰの資格取得者を配置した。 ・緊急時における職員間の連絡にSkypeを活用し、連絡体制を整備した。 ・「個人情報保護規程」及び「個人情報保護方針」に基づき、個人情報保護の遵守に努めた。 ・管理業務が適切に行えているかどうかを客観的に把握するため「利用者アンケート調査」を実施した。 ・新型コロナウイルス対策として、5類移行後も感染対策として清掃・換気・案内表示等の館内の環境整備及び窓口や自主事業における接客時の消毒薬の設置、マスクの着用等を行った。 ・安全衛生法に基づき、衛生推進者を配置した。
利用支援計画	・公衆無線LANの提供及び利用者用コピー機の設置、FAXサービスの実施、タクシー会社の情報提供を行い、利用者の利便性向上に努めた。 ・車いすや正座椅子、子ども用クッション、ブランケットの貸出サービスを行った。 ・「アドバンスBOX」(ご意見箱)を活用し、利用者の要望を施設運営に反映させるよう努めた。 ・「職員研修要綱」に基づき、接遇研修等を実施し職員の資質向上を図った。 ・筆談ボードを設置し、必要に応じて筆談による受付対応を実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気用サーキュレーターや非接触型体温計の貸出しを行った。
自主事業計画	・県外からも来館が見込める鑑賞事業として、「村治佳織の四季&アランフェスwith神奈川フィルハーモニー管弦楽団」や、「佐渡裕&新日本フィルハーモニー交響楽団ハイドン×ブルックナー」等を開催し、多くの方にご来場いただいた。また裾野を広げる人材育成事業として、SaCLaアーツを起用した RaiBoC Hallワンコインコンサートを開催し、地元のアーティストの演奏活動に貢献した。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

「市民の平等利用」

・さいたま市文化会館条例・施行規則その他関係法令を遵守するとともに、ユニバーサルサービス・ユニバーサルデザインを意識し、市民の平等かつ公平な利用に努めた。

「市民サービスの向上」

・様々な市民サービスを実施する一方、お客様の要望に沿っているのかを確認するため、窓口で直接受けた要望についての対応、アドバンスBOXや利用者へのアンケート調査を実施し、サービスの向上に努めた。

「利用促進」

・文化芸術鑑賞事業を中心に、HPやSNSでの広報、地域情報誌や新聞への広告掲載やチラシ折込み、会館独自の情報誌「RaiBoC Navi」の配布などを行い、参加率向上を目指した。また、事業団情報誌「SaCLa」を各区役所、公共施設等に配布し利用促進に努めた。

「経費の削減」

・消耗品の共同購入や軽微な設備不良は外注とせずに対処するなど、経費の削減に努めた。

「適正な管理運営の確保」

・危機管理ガイド、危機管理マニュアルの整備や緊急時の連絡手段としてSkypeを活用するなど、管理運営の確保に努めた。

(2) さいたま市の評価（評価担当課：スポーツ文化局文化部文化振興課）

総合評価（B）※A～D

1 項目別の評価

(1) 「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・コロナ禍以降の生活様式の変化により、利用者の借り控え傾向が継続しているが、施設稼働率及び利用率は前年度を上回り、利用者数も改善している。

・新施設になり、利用者からの声にソフト面でもハード面でも日々改善をしている。

・利用者アンケートに基づくサービス向上に努めていた。

(2) 「経費の削減」に対する評価

・計画的かつ効率的な執行を図り、経費の節減に努めていた。

(3) 「適正な管理運営の確保」に対する評価

・危機管理マニュアルの整備や緊急時の連絡手法を新たに確立するなど、安心・安全かつ適正な管理運営の確保に努めた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

市民会館おみやげ、文化芸術都市創造に向けた拠点施設であるため、その意識とともに、事業展開を図ること。引き続き、利用者の目線に立ってニーズの把握を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、安心・安全な施設の維持管理を努めること。